

白石町長
コラム
Vol.79

「不易流行」

「よき伝統を守りながら(不易)

進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって

「理想」を創造する

とができます。

今回作成する70周年

趣を変える70周年記念誌

昭和28年6月1日、日野郡江尾町、神奈川村、米沢村が合併して江府町になりました。令和5年は江府町制施行70周年になる記念すべき年です。町ではこれまで10周年単位で記念行事の開催や、記念誌を発行してきました。今回70周年記念誌を制作するにあたり、過去の記念誌を参考にするため、改めて読んでみました。昭和時代のものは町勢要覧的な性格が強く、自然、歴史、人口、議会、行政(財政、消防、交通安全、社会福祉、保健・衛生、産業、建設、教育文化等)を網羅してまとめてあります。平成時代になるときれいで雰囲気のある写真がふんだんに使用され、「奏でよう江府四重奏」「森のやさしさに、抱かれて」といったキャッチフレーズ、そして冊子は大判になっていきます。昭和時代、平成時代いずれの記念誌も、写真とデータで当時の様子を振り返るこ



▲過去の記念誌

記念誌は、今までとは全く趣を変えたものになる予定です。町内に住んでいる若者を主人公にして、一つの物語として書き綴る形をとります。執筆は小説「天の虫」の著者松本薫さんです。現在進行中のできごとを「新たな息吹」として、この10年間江府町で起こったことを「10年の歩み」としてまとめます。そして、これからの江府町の構想も含めて、紹介していきます。江府町にお住いのみならず、もちろんのこと、町外の人にも広く江府町に興味を持っていただける内容にします。秋には発行予定です。楽しみにお待ちください。

これまでのコラムはこちら!



これまでのコラムはQRコードを読み取ることでご覧いただけます。



新コーナー
江府町立図書館の本棚
「こんな本あります！」
監修：江府町立図書館館長 宇田川 恵理

こんにちは！江府町立図書館の宇田川です。今月から、江府町立図書館の本棚にある、ちょっと気になる「こんな本」を、紹介していきたいと思います！



『パンダ「浜家」のファミリーヒストリー』 NHK「ファミリーヒストリー」取材版編 (東京書籍)

この本は、NHK 総合テレビ『ファミリーヒストリー パンダ彩浜～和歌山・白浜パンダー家のルーツ』の番組内容を書籍化したものです。番組の舞台は、和歌山県白浜町にあるアドベンチャーワールドで、当時は父親永明、母親良浜と、彩浜はじめ5頭の子ども、合計7頭のパンダが暮らしていました。その後、父親永明と2頭の子どもが中国に帰ったことを、ニュースで聞かれた方も多いと思いますが、永明には、日本で生まれた子供が全部で16頭あります。これほどの大家族は中国以外には例がないそう。この大家族がいかにして生まれたのか、その先祖はどこからやってきたのかなど、さまざまな秘密が調査の結果わかるのですが、実はこの本、江府町にもゆかりがあるのです。アドベンチャーワールドの副園長中尾建子さんは、江府町のご出身。本の中でも、パンダ飼育や出産時の秘話を語っておられます。パンダー家の知られざる歴史に触れるだけでなく、日中両国のパンダに関わる人々の熱い気持ちを感じる1冊です。



宇田川 館長

永明、中国に帰っても元気で暮らしてね！

